

大分県知的財産総合戦略の概要

第1章 知的財産を取り巻く環境

知的財産立国実現に向けた国の動き
 ○知的財産基本法(H14.12策定)
 地方公共団体の責務:知的財産の創造、保護、活用に関し、地域の特性を活かした自主的な施策を策定し、実施する責務
 →大分県知的財産活性化指針の策定(H18.2)



策定から12年が経過

- ◆第4次産業革命と呼ばれる社会環境の変化
- ◆国内市場の縮小に伴う経済のグローバル化の進展
- 企業の事業戦略としてのオープン&クローズ戦略の活用



新たな知的財産戦略の策定

第2章 大分県の知的財産を巡る現状と課題

- 大分の産業別特色
農林水産業、製造業、商業・物産・サービス産業、観光産業
- ブランド力向上の取組事例
大分県の可能性を広げ、ブランド力向上に寄与している産品等を紹介
- 県内の出願・登録状況
・特許出願186件(全国36位)、商標出願529件(全国33位)
→全国的に低い水準
・中小企業数割合:特許0.13%(全国33位)、商標0.43%(全国30位)
- 企業調査からみえた課題
訪問調査:県内企業62社対象

第3章 知的財産の取組方針

- 基本的な方針…大分県長期総合計画をベース

安心・活力・発展を推進する創造戦略

- (1)安心を守る知財戦略
- (2)活力を生む知財戦略
- (3)発展を促す知財戦略

2.戦略に係る目標

●基本的な取組方針

「国内外における知的財産の適切な活用の促進」

●総合目標

①知財支援機関による累計相談件数

H29年度 1,024件 → H35 1,238件

②中小企業数に占める出願中小企業数の割合(特許・商標)

H29年度比でH35年度に企業数で全国順位を10ランクアップ目指す

〔 特許 H29 33位→ H35 23位 〕
〔 商標 H29 30位→ H35 20位 〕

- 3.戦略に係る期間 平成31年度から5年間

第4章 解決に向けた知財戦略

大項目	小項目	具体的施策
安心・活力・発展を推進する創造戦略【知的財産の創造】	知的財産に関する相談機能の充実	・地理的表示(GI)保護、営業秘密・ノウハウ等幅広い相談対応 ・大分県よろず支援拠点や弁理士会等と連携した相談対応
	知的財産を創造する研究開発支援	・IoTやAI、ロボットなどの技術でシステムを開発し、実証・導入する企業を支援 ・ビジネスプランを募集・表彰し県内での事業化を支援
	権利侵害に対する対策	・DNAマーカーによる識別技術確立や品種保護対策官との連携による侵害対応 ・ジェトロ等と連携した模倣品等の情報収集の実施
1.安心を守る知財戦略【知的財産の保護】	知的財産の権利化に対する支援	・外国出願にかかる費用の助成
	地域振興のための地域ブランドの構築	・おおいと牛やベリーのPR強化 ・流通・販売体制構築による「The・おおい」ブランドの確立 ・世界農業遺産やユネスコエコパークの世界ブランド商品の販売促進支援 ・かぼすプリ等かぼす養殖魚の周年出荷体制の構築 ・おんせん県おおいのロゴを活用した観光プロモーション等の促進
2.活力を生む知財戦略【知的財産の活用】	開放特許等の活用促進	・大企業等と中小企業とのマッチング会の開催
	海外展開における知財活用の推進	・県産ブランドとして輸出する商標登録や地理的表示(GI)保護制度の推進 ・「別府竹細工」や「日田げた」の海外販路開拓支援
	子ども、若者の知財教育・創作環境整備の推進	・O-Laboにおける科学体験講座の実施 ・少年少女発明クラブの設立及び活動の支援
3.発展を促す知財戦略【教育、人材育成】	社会人の知財学習	・オープン&クローズ戦略等最新のトレンドを取り込んだ企業経営セミナーの開催 ・企業経営者等を対象とした知財塾の開催

第5章 フォローアップ体制

外部有識者による「大分県知財戦略推進会議」や庁内の関係機関等で構成される組織を設置し、進捗管理等を実施